

オープンアクセス・
オープンサイエンス時代の
著作権を考える 



定員

100名

(事前申込・先着順)

2026年 **3**月 **4**日(水)

14:00 ~ 16:30 (13:30 受付開始)

会場 赤坂インターシティ Air 301




参加無料
申込はこちら！



他学会はどうしているんだろうか...
と思ったことはありませんか？



本シンポジウムでは...

-  国内外のオープンアクセスの最新動向がわかる！
-  似たような悩みを持つ他学会の取り組みを知ることができる！
-  「オープン・クローズ」戦略を考えるヒントがわかる！

→詳しくは裏面をチェック！

◆開催趣旨◆

近年、研究成果のオープンアクセス化が加速し、学術情報のあり方が大きく変わりつつあります。研究成果を広く社会に届けることは大きな前進である一方で、著作権管理や収益還元など、学協会が直面する新たな課題も浮き彫りになっています。

本シンポジウムでは、第1部で日本および海外におけるオープンアクセスの最新動向を整理し、その意義と課題を多角的に検討します。第2部では、実務現場で著作権管理に取り組む学協会の立場から具体的な事例を共有いただき、パネルディスカッションを通じて「オープン」と「クローズ」をいかに戦略的に使い分けるかを議論します。

オープンサイエンスの時代に、学協会が知的成果をどのように守り、社会へ発信していくべきか。本シンポジウムが、そのヒントを見出す場となれば幸いです。

PROGRAM

第一部 講演

①日本におけるオープンアクセスについて

登壇者：林 和弘（文部科学省 科学技術・学術政策研究所 上席フェロー）
土屋 俊（授業目的公衆送信補償金等管理協会 副理事長）

②海外におけるオープンアクセスについて

登壇者：Michael Healy（Copyright Clearance Center
Executive Director, Rightsholder and International Relations）

第二部 パネルディスカッション

①学協会から見たオープンアクセスについて

登壇者：調整中

②パネルディスカッション

モデレーター：土屋 俊
パネリスト：林 和弘、Michael Healy、石島 寿道（学術著作権協会 事務局長）
学協会より2名ご出席予定（調整中）

申込

当協会 HP「お知らせ」のシンポジウム案内ページよりお申込みください。

※下記の申込専用ページのアドレスからもお申込みできます。

<https://bit.ly/49ULjIL>

※お申込みの際にご入力いただく個人情報は、当協会のプライバシーポリシーに則り、厳正に管理し、本シンポジウムの運営に関わる用途以外には使用いたしません。
※シンポジウムの内容は予告なく変更する場合がございます。予め承ください。

お申し込みは
こちらから！



会場

赤坂インターシティ Air 301 会議室

電車をご利用の方

「溜池山王」駅 直結

銀座線 / 南北線

「国会議事堂前」駅 直結

千代田線 / 丸の内線

※「溜池山王」駅から地下通路にて接続

「神谷町」駅 徒歩約 10 分

日比谷線

「虎ノ門ヒルズ」駅 徒歩約 5 分

日比谷線

会場について
詳しくはこちらから！

